

「言葉の力を信じて」～全校で取り組むNIE教育～

豊岡市立港東小学校 校長 辻井 明未
主幹教諭 杉本 祐一

1. NIEへの挑戦

言葉は、確かな学力と豊かな心を育む。言葉は円滑なコミュニケーション手段にとどまらず、心を動かし感性や情緒など人間づくりの基盤となる。言語活動が基礎的な知識や技能を習得・活用する力となることは疑う余地もない。我々は言葉の可能性を信じて「NIE教育」への挑戦を始めた。その挑戦は今年、2年目を迎える。

2. 本格的始動に向けて

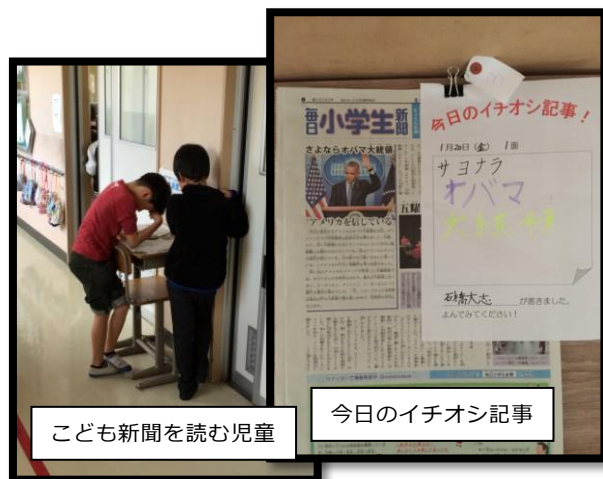
有効なNIE実践を積み重ねるために、本年度は次の3点を充実させた。

- (1) 新聞・放送委員会の新設
- (2) 教職員研修の充実
- (3) 場所と時間の確保

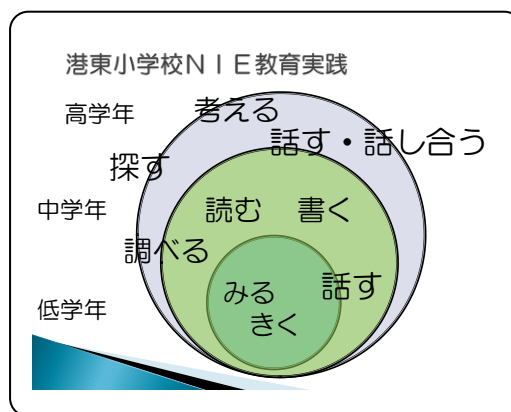
3. 新聞・放送委員会活動

『新聞・放送委員会』の新設、NIE活動を先導する組織（児童）を置いた。本格的な取り組みの中心だ。委員会の活動では『子ども新聞』や『一般新聞』の設置と回収の他、『一般新聞』の気になる記事を蛍光ペンで囲んで紹介する『私の気になる記事』を作ったり、『子ども新聞』から読んでほしい記事を『今日のイチオシ記事』として紹介したりした。また、給食中に放送で読んでほしい記事を紹介した。

『子ども新聞』は各教室前の児童机の上、『一般新聞』は、2学期より児童玄関の長机の上に設置した。誰もがすぐに手に取れる場所を選んだ。



4. 児童のNIE活動イメージ



昨年までのNIEの活動を整理し、発達段階に応じて取り組む“新聞を使った言語活動”を領域ごとに示した。全職員で共通理解して本年度の取り組みを始めた。

5. スキルタイム（NIEの時間）の確保

月曜	計算
火曜	NIE
水曜	計算
木曜	計算
金曜	計算

スキルタイム（清掃後 10 分間）では、「計算」と「NIE」に限定して、4月から全校で取り組んだ。

6. 学年での取り組み

(1) 1年生『話題の記事を読もう』

『こども新聞』や『神戸新聞（但馬欄）』から、話題になっている記事、地元の記事を読み聞かせる。記事に関係する写真を大きく映し出し、その後、記事について話をしたり、記事の内容を簡単なクイズにしたりして楽しんだ。



(2) 2年生『新聞と仲良し』

破いた新聞紙の形に合わせて、マントにしたり帽子にしたり、動物の頭にしたり尻尾にしたり…思い思いに新聞紙を身に着けて楽しく活動した。低学年では、いつも新聞を身近（教室内）に置いて遊んでいる。



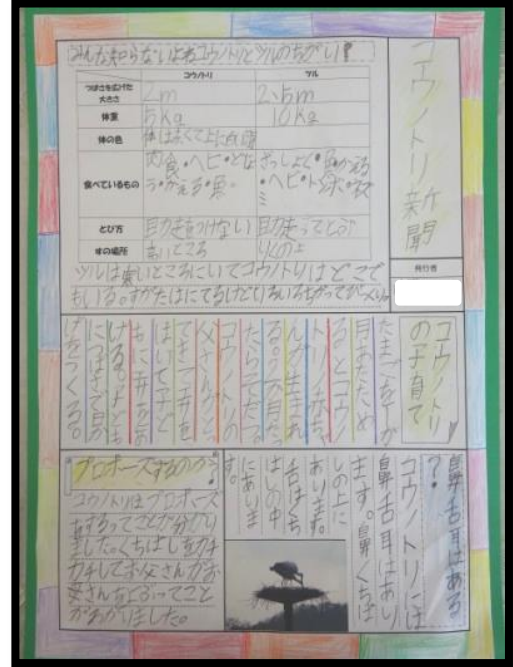
(3) 3年生

ア 『見出しクイズ』

教師が新聞記事を読み聞かせ、「見出し」を考えさせる。「見出し」を空欄にした用紙を一人一人に配布して、自分たちで考えた見出しを書き込ませる。正解ではなく、“どんな見出しが「読んでみたい」と心を動かすか”読み手を引きつける「見出し」を作るように取り組んでいる。

イ 『新聞にまとめよう(コウノトリ)』

コウノトリについて調べてきたことを新聞にまとめる。実際の新聞を見て、見出しの付け方や絵や表、写真を使って分かりやすく工夫されていることを学んだ。また、コウノトリ関連の記事も集めた。



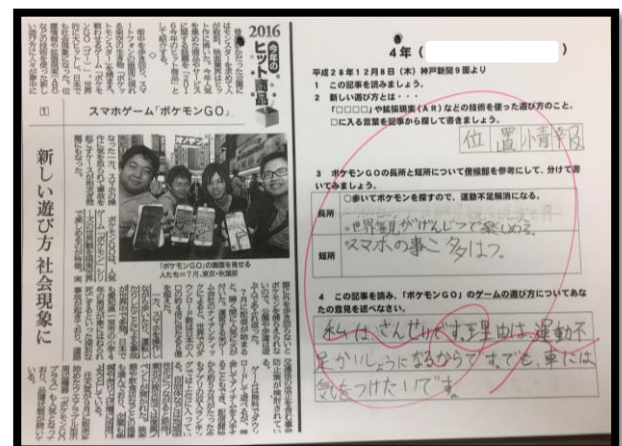
(4) 4年生

ア 『若者BOX席の視写』

早く、正確に、たくさん書く力を付けることを目指して『神戸新聞』の「若者BOX席」等、全員で同じ記事を「視写用紙」に写した。

イ 『新聞記事を読んで答える』

「話題になっていること」「地元の話題」等を中心にして、全員で記事を読んだ後、問題を作って解き合ったり、感想を書いたりする。



(5) 5年生

ア 『やわらかい思考を使って』

紙面に掲載される「漫画」や「4コマ漫画」最後の場面の吹き出しを考えて交流する。慣れてきたら、4コマ漫画の一部分を考えて、矛盾しないストーリーを作って交流する活動もできた。

★題名「ドリブル」

ドリブル練習をする二人におじいちゃんが、「おーだいぶうまくなっただじやないか」と笑顔。

今日の夕飯は芋煮、芋をなかなかつかめない孫へ一言。



イ 『自然学校新聞を作ろう』 (15時間)

① 課題をつかむ (国語2時間)

国語「新聞を読もう」から、見出し、リード文、本文等の使い方を思い出して「自然学校」での体験を整理して記事にする。

② 課題にむかう (総合2時間)

神戸新聞社より西栄一総局長をお迎えして、記事の作り方、見出し、リード文などの書き方を学ぶ。全体指導の後、書いた記事を個別に指導していただいた。

③ まとめる (国語10時間)

「コラボノート」を使って記事を打ち込み、新聞に仕上げて交流する。

④ 生かす (学活1時間)

お世話になった方々に新聞を送る。



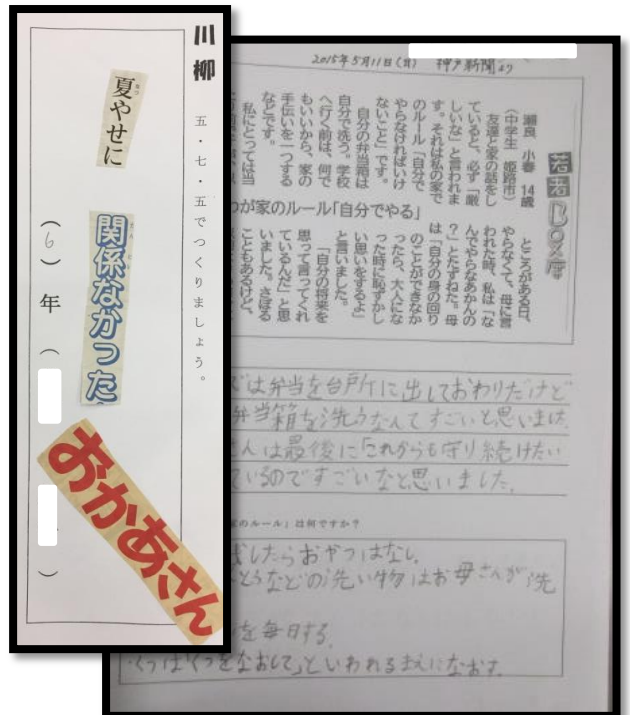
神戸新聞社の西栄一さんとの授業風景



(6) 6年生

ア 『新聞投稿の記事を読んで』

神戸新聞「若者BOX席」を切り抜き、記事を読んだワークシートを作る。記事を読んで感想を書き、感想を交流する。



イ 『五七五新聞川柳を作ろう』

新聞から「5文字」と「7文字」の言葉を切り抜き、組み合わせる川柳を作る。廊下掲示して互いの作品を味わった。

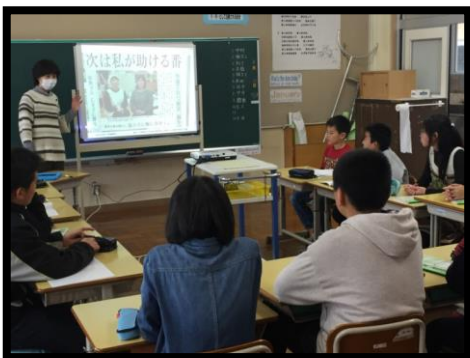
ウ 『平和について考えよう』

新聞記事から『平和』についての記事を切り抜いて「平和ノート」に貼る。見出しと感想を書き、互いに記事を発表して「平和」について話し合った。定期的な実施することで、戦争に関する内容から、他国の紛争や自然災害など、多角的に「平和」を捉えていた。



エ 『意見交流』

「iPad」で撮影した記事をプロジェクターを使ってホワイトボードに映し出す。その記事を読み進めながら、キーワードや大切な所に印を入れて意見の材料を見つけ（共有して）、意見を交流する。
 ※ホワイトボードに映し出す他、iPad同士で情報を共有できる（エアードロップ）。
 「新聞スクラップ」でも同様に iPad で撮影した記事をフォルダーに保存することができる。



7. 本年度を振り返って

「学校をけん引する児童の組織作り」「職員の意識改革とスキルアップ」「環境（時間と場所）の確保」。N I E本格実施に向けた“3本の矢”だ。火曜日のスキルタイムでは、発達段階に応じた、担任のアイデア豊かな実践が重ねられた。教室の背面掲示『N I Eの歩み』に見られる実践量が取り組みの成果だ。確実に「スキルタイム」＝「学びの土台」に根付いてきたようだ。また、夏季休業中、実践交流で紹介された“iPad”と“プロジェクター”を使った「情報共有方法」は、簡単さや便利さから全校に定着した。本校では全校生でN I E活動に取り組んでいる。目的に合わせて新聞を活用するためには、新聞に慣れることが肝心だと考えているからだ。「児童のN I E活動イメージ」に示した、つながりある活動を続け、言葉の可能性をさらに広げたい。

8. 実践例

学年	実践例 ※(ス)=スキルタイム
1年	「話題の記事を読もう」(ス) ★(紹介実践) 「パズル・問題に挑戦」(ス) 「カタカナ・漢字を見つけよう」(国) 「秋の自然を学ぼう」(生) 「おもちゃ作り」(図・休み時間)
2年	「記事の読み聞かせ」(ス) 「習った漢字見つけ・おもしろ言葉見つけ」(ス) 「カタカナ見つけ」(国) 「吹き出しを書こう」(ス) 「新聞と仲良し」(図) ★
3年	「見出しクイズ」(ス) ★ 「コラージュ川柳」(ス) 「漢字見つけゲーム」(ス) 「よい聞き手になろう」(国) 「記事を見つけよう」(理・総) ★ 「新聞をつくろう」(総) ★ 「北但大震災に学ぼう」(道)
4年	「コラージュ川柳」(ス) 「若者BOX視写」(ス) ★ 「新聞記事を読んで答える」(ス) ★ 「新聞作り」(ス) (国)
5年	「見出しを考えよう」(ス) 「記事について自分の思いや考えを持つ」(ス) 「行事に関連した記事を使った指導」(ス) 「頭の体操」(ス) 「やさしい思考を使って」(ス) ★ 「キーワードを見つけよう」(ス) 「自然学校新聞を作ろう」(国・総・学活) ★
6年	「新聞から当てましよう」(ス) 「新聞投稿の記事を読んで」(ス) ★ 「五七五新聞川柳をつくろう」(ス) ★ 「平和について考えよう」(ス) (社会) ★ 「N I Eワークシートを使って」(ス) 「意見交流をしよう」(ス) ★

